



# THE 市町支援通信



～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

子ども心身発達医療センターは、途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援をめざし、子ども心身発達医療センターは多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ①発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
- ②「CLM（チェック・リスト・in 三重）と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援  
\*「CLMと個別の指導計画」は、子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです。
- ③みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

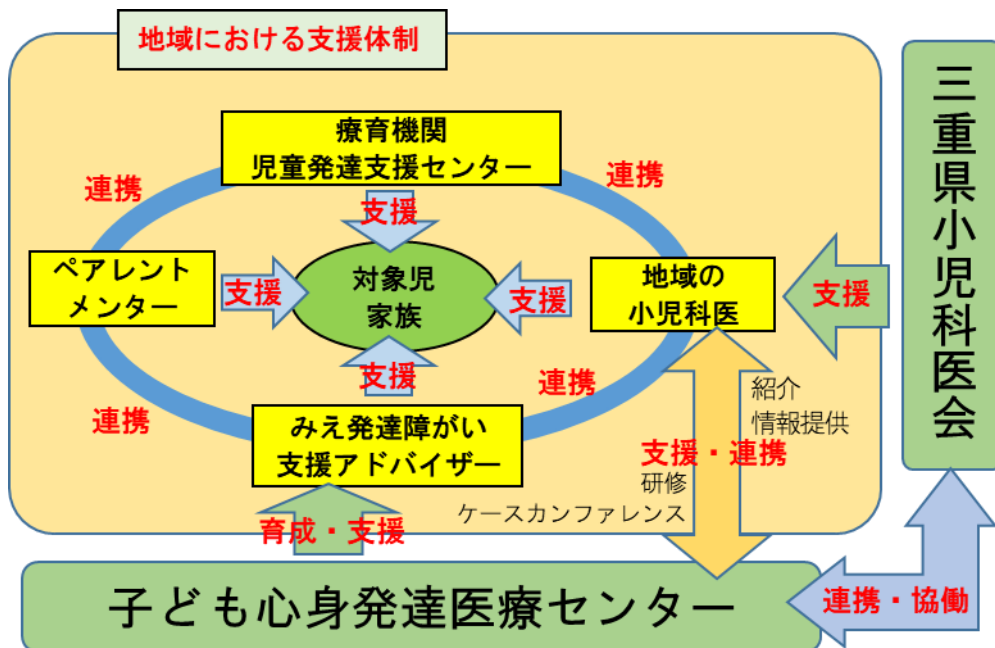
## 地域における支援ネットワーク構築（発達障がい連続講座）について

子ども心身発達医療センター長 金井剛

三重県に赴任して4年が経とうとしています。初診患者を診ていて、ずいぶん遠くから車で来るんだなあ、この子はわざわざここまで来なくても良かったのになあなど感じたことは今でも十分記憶しています。5年ほど前に機会を得たカナダのトロント市での研修では、支援の必要な子どもをその地域や民族や宗教組織が支える“community based”という考え方に接することができました。



三重県においては、子どもたちが生まれ育った地域で様々な専門的支援が受けられるシステムを構築中であり、地域支援課のリハビリ担当には、地域のリハビリ専門家を育てることをアウトリーチの目的に、発達支援担当には、



支援ネットワーク構築後の想定図

「CLMと個別の指導計画」やワンストップ窓口への支援を通じて地域の支援力を高めてもらっています。

今回、小児科医向けの発達障がい連続講座を開く目的は、講座に参加した医師がこれらの既存の地域ネットワークに加わることによって、その力をより強固にすることを目指します。

この発達障がい児地域支援ネットワークには、みえ発達障がい支援システムアドバイザー、各市町のワンストップ窓口職員、自閉症協会ペアレントメンター、療育機関職員が加わることが必要です。地域で小児科医が診断し、具体的な支援は、必要に応じてネットワークに子どもやその家族を委ねます。早期介入、早期療育に繋がることにもなると思います。アドバイザーあるいはワンストップ窓口職員がそのまとめ役になることが望ましいと考えます。みえ発達障がい支援システムアドバイザーがワンストップ窓口配置されていない地域では、それらの小児科医を中心にネットワークを新たに構築してほしいと考えています。

主に幼児期から小児期の発達障がいの子どもたちを地域で支え、そこでは支えきれない子どもについては、センターに紹介していただき、トリアージ会議を経たうえで治療を行います。初年度の令和2年度は、未就学児を主な対象としようと思えます。また、個々の地域で定期的に事例検討会などを開いていただき、その際にはセンター医師やCLM担当職員等を派遣し、助言など行いたいと考えています。

このような形で三重県の発達障がいを有する子どもたちが、地域で支えられ、またセンターで治療されるシステムができることを目指します。そのために、市町アドバイザーやペアレントメンターの皆様、そして各地の療育機関の皆様のご理解とご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

#### みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修

## 研修者報告会

1年間の成果を報告しました

令和2年2月28日（金）センター講堂にて開催しました。感染防止対策のため、人数規模を縮小し、マスクの着用やアルコール除菌による感染対策を徹底いたしました。

今年度の派遣6市町（いなべ市、朝日町、多気町、大台町、鳥羽市、志摩市）の課長さんをはじめ関係者の方々、次年度以降研修派遣を検討されている市町の関係者の参加をいただき、研修者6名がそれぞれの研修成果を報告しました。研修内容とテーマ、研修者の学びは以下のとおりです。

### 「CLMと個別の指導計画」を活用した発達支援 子どもと担任への効果を考える

子どもの行動の要因を探り、担任が子どもをほめるポイントを明確にした支援を組み立て、子どもも担任も成功体験を積むことができた。「CLMと個別の指導計画」は担任のための支援のシナリオになると学んだ。

### 外来発達療育を通して、発達課題に対する保育園での支援方法を探る

発達課題の見極め方、目標の設定の仕方、評価の方法などを学んだ。子どもは療育室で生活しているわけではなく、毎日通う保育園での支援が大切であることを学んだ。

### 外来通院児を通して、アドバイザーの役割を考える

学校で問題行動が頻発していた要因を分析し、対象児に見合った支援の組み立て、担任へのコンサルテーションを行った。特性を見極めた途切れのない支援がアドバイザーの役割であると学んだ。

### 中一男児の入院治療を通して、途切れのない支援を考える

対象児とのかかわりやケースカンファレンスを通して、問題行動の背景を探り、自立への支援の一部を実践した。幼児期の支援の重要性、中学生との関係構築の難しさ、希望を持たせて伴走することの効果学んだ。



6名の研修者からご挨拶

# 「CLMと個別の指導計画」を使って クラスみんなで園庭サーキットをしよう!

※園庭サーキットとは園庭にある遊具を使って体を動かすあそびのことです

Aくん 年長男児

- ・室内であそぶことがほとんどで園庭に誘っても「いかない」と言うことが多い
- ・集団あそびの時、途中で抜けることがよくある
- ・友だちとのかわりが少ない

担任の願い

いろいろなあそびを体験してほしい

クラスの様子 年長 13名

- ・先生のお手伝いが好きな子が多い
- ・園庭で自ら活発にあそぶ子が少ない

4点がついたCLM項目：(3) (5) (11) (12) (14)

名前： Aくん

チェック項目 (3) 先生の指示を聞いて行動できない

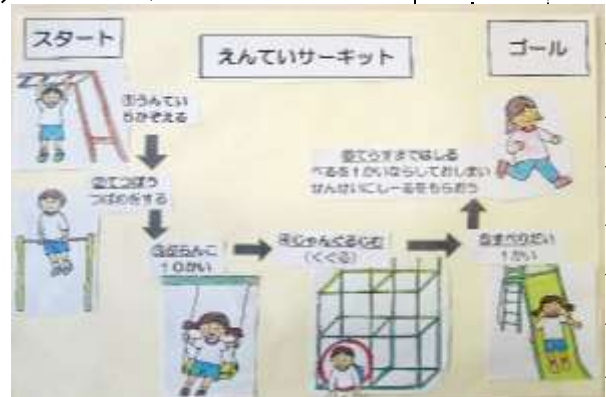
エピソード 園庭あそびの時、いつも砂をいじっていて遊具で遊ばない

要因

①砂あそび以外のあそび方を知らない

目標 園庭サーキットの時、グループの友だちと一緒に最後まで参加できる

期間	具体的な指導方法	結果・評価
	<p>&lt;クラス環境の整えとクラス全体の支援&gt;</p> <p>&lt;準備&gt;</p> <p>7/1 ◎保育室に絵図入りの園庭サーキットの全体図を掲示する</p> <p>7/12 ◎遊具に回数・することを貼っておく</p> <p>2W &lt;朝の会&gt; 遊具にも、回数、あそび方を貼ります</p> <p>10回 ◎全体図を見せながら園庭サーキットのあそび方を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループですること、全部回ったらシールが貼れることを伝える</li> </ul> <p>&lt;園庭サーキットの時&gt;</p> <p>◎1回目は担任が遊具の前で1つずつ見本を見せる</p> <p>◎グループごとに呼び、スタートさせる。</p> <p>◎終わったらテラスで、ベルを鳴らさせ、シールを貼らせる</p> <p>◎担任がハイタッチでほめる</p>	<p>月</p> <p>OX</p> <p>特記事項</p>
	<p>&lt;個別の支援&gt;</p> <p>◎Aくんは2グループの2番目にさせる</p> <p>◎できない時は、担任がそばで教える。</p> <p>◎個別にもOKサインでほめる</p>	<p>評価日：7月12日 (金) 16:00 ~</p>



全てのあそびの見本を見せます

できないときは90%支援!

最後にベルとシールのお楽しみ!

園庭にある遊具を使ったので準備物が少なく、すぐに始められました。

隣のクラスの子たちも一緒に取り組みました。

園庭サーキットの取り組み後は、給食をモリモリ食べる子が増えました。

担任

# 2020年度の取り組み(予定)

継続して県内における「途切れのない支援システム」の構築を市町の皆さんと一緒に進めます。  
関係者の皆様には、今後ともご理解とご協力をお願いします。

2020年度行事予定 (2020年3月現在の予定です。都合により変更する場合があります。)

## スキルアップ研修会

2020年4月21日(火曜日) 子ども心身発達医療センター 講堂  
対象：みえ発達障がい支援システムアドバイザー、CLM コーチ

## 途切れのない発達支援研修会 圏域ワークショップ(初級)

2020年5月10日(日曜日) 桑名市 長島ふれあい学習館  
2020年5月17日(日曜日) 子ども心身発達医療センター 講堂  
2020年5月24日(日曜日) 子ども心身発達医療センター 講堂  
対象：保育士・教員・保健師等子ども支援に携わっている方、関係行政職員等

## シンポジウム

2020年7月28日(火曜日) 三重県総合文化センター 中ホール  
対象：県民一般

## 「CLMと個別の指導計画」実践報告会

2020年11月15日(日曜日) 三重県総合文化センター内 フレンテみえ多目的ホール  
対象：保育士・教員・保健師等子ども支援に携わっている方・関係行政職員等

## みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修会「ミニ学会」

2020年12月13日(日曜日) 子ども心身発達医療センター 講堂  
対象：みえ発達障がい支援システムアドバイザー

## 研修者報告会

2021年2月26日(金曜日) 子ども心身発達医療センター 講堂  
対象：研修者派遣市町関係職員等

※2020年4月1日現在

※児童精神科外来

担当医一覧

※初診予約専用ダイヤル

**059-253-2020**

	月	火	水	木	金
1診	中島医師	金井医師	高城医師	金井医師	大槻医師
2診	柿元医師	中西医師	中野医師	中西医師	中野医師
3診	大立医師	中島医師	大槻医師		藪医師
5診	東医師	藪医師	柿元医師		大立医師
6診				加藤医師	東医師

令和2年(2020年)3月12日

<発行> 三重県立子ども心身発達医療センター 発達総合支援部 地域支援課

〒514-0125 三重県津市大里窪田町 340 番 5

電話番号 059-253-2000(代) FAX 059-253-2029

MAIL: childc@pref.mie.lg.jp URL: http://www.pref.mie.lg.jp/CHILDC/